

「働き方を考えるセミナー」開催報告

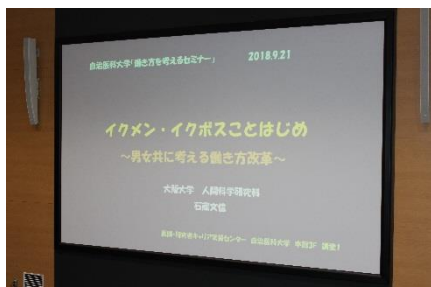


平成 30 年 9 月 21 日(金)本館講堂 1 に於いて、働き方を考えるセミナーを開催いたしました。

今年度は、大阪大学人間科学研究科 未来共創センター招へい教授の石蔵文信 先生をお招きいたしまして「イクメン・イクボス・ことはじめ」と題してご講演頂きました。当日は多くの男性職員や管理職の先生方にも足をお運び頂き、75 名の方々にご参加いただきました。

石蔵先生は、育児、家事は女性にしか出来ないという固定概念に囚われず、出来る人が出来るときにやればいいを基本発想とし、先生ご自身も家事やお孫さんの世話をするというような、家庭内での働き方改革を実践していらっしゃいました。

「育児では授乳など女性にしか出来ないこともあるけれど、男性は家事なら出来るはずだから男性がやる。男性が育児に関われるようにする為のコツはスプーンを使った“えづけ”だった」等々の、目から鱗が落ちるようなノウハウを惜しみなく披露していただきました。関西弁の中に、聴く側が自然と笑みがこぼれるフレーズを交えながら、感心と笑いの中で講演は終了しました。今回のご講演を聴講して、一人でも多くの方に難しく考えずに簡単なことから働き方改革を「ことはじめ」していただければ良いと感じました。医師・研究者キャリア支援センターでも皆さんの働き方改革の少しでもお役に立てる催事をこれからも企画していきたいと考えております。



「働き方を考えるセミナー」/第2部グループディスカッション

グループディスカッションテーマ

- ①仕事を元気に続けるコツ
- ②イクメン・イクボスになるためのコツ
- ③働きやすい職場にするために
- ④何でもOK



<第2部グループディスカッション・懇親会の様子>

予めグループ分けしたメンバーは、医師、研究者、看護師、学生と色々な立場の方が初めましてとのご挨拶から始まりまして、上記のテーマを選択いただき自由にお話ししていただきました。其々の立場や経験値などから様々な意見が発表されました。グループ意見発表後に石蔵先生より総括としていただきましたお話が印象的でしたので以下に箇条記載いたします。

本能に任せる！

- ・今やるべき事を優先して考える。
- ・先々を考えてもアクシデントの連続で思い通りにはいかない。
- ・忙しく時間が無いときにほど、時間を上手に捻出できる。ゆとりがある時ほど時間の捻出が出来ない。
- ・頭で考え過ぎずに、縛られずに冒険した方が良い。

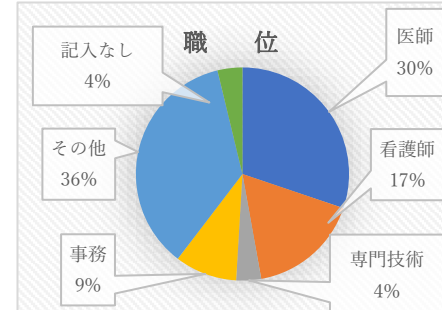
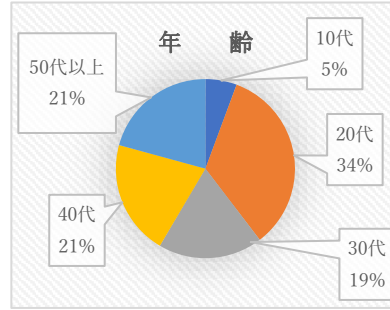
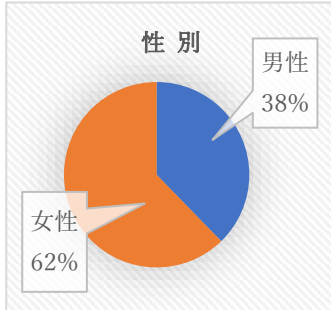
Jichiの「Jポーズ」で記念撮影



皆さんの表情から懇親会の楽しい雰囲気伝わってきます♪

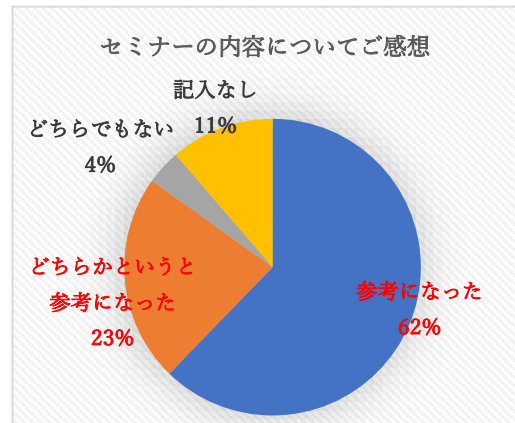
以下に、アンケートのご意見を掲載いたします。

〈1〉ご来場者ご自身についてお伺いします。



〈2〉本日のセミナーの内容についてご感想をお聞かせください。

1. 参考になった 33人
 2. どちらかという参考になった 12人
 3. どちらでもない 2人
 4. どちらかという参考にならなかった 0人
 5. 参考にならなかった 0人
- 記入なし 6人



〈3〉本日のセミナーのご感想、ご意見をご記入ください。

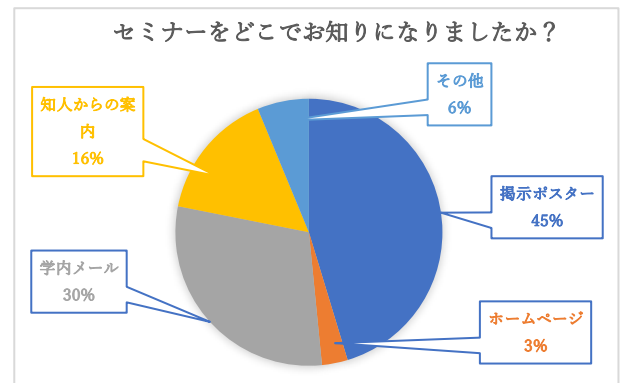
- ・子育て、孫育てに焦点を当てた男性・女性の働き方について楽しく学ぶことが出来ました。女性だけでなく、男性が子育てを行うことの必要性やコツについて新しく知ることが多く、とても興味深かったです。
- ・感動しました。目からウロコ！という感じでした。将来の旦那さんに聞かせたい。録画して見せたいくらいです。
- ・先生の話はとてもリアルでおもしろくて大変参考になりました。先生の話をもっと聞かせてあげたかったと思いました。‘孫のえずけ’がおもしろかったです。
- ・私は去年まで男子校に通っていたので、女性のことが何もわかりません。結婚したいし、子供もほしいけど、何も未来が想像できませんでした。今日のセミナーでかなり将来が見えました。夫婦げんかをした方が良いというのも驚きでした。
- ・先生のような上司がいらっしゃると、とても心強いです。
- ・「何が得か」を考える‘という先生のお言葉をはじめとして、大きくうなづく事ばかりでした。
- ・要点が明確で有意義な内容。具体的で実践的。刺激的なプレゼンテーション。
- ・非常にためになった。OneOpe育児と化していた。罪悪感を感じた。もっと家庭を大事にしよう。
- ・男性も自立して家事、子育てが必要なこと、ある程度のことわりきることが必要だなと感じました。
- ・ホルモンの違い、別々に子育てが参考になった。学生の意見が心にしみた。
- ・学生で結婚して子供を産んで、私の周りでは考えられない事であったので、今後の人生で出来ない事はないのかもしれないと思った。世界が広がった。仕事か育児かどちらかをあきらめるのではなく、考えて工夫していけばバランスが取れることが分かったので、自分の今後の人生設計を考えるきっかけとなった。

- ・結婚後の長い経過のそれぞれのポイントで気を付けることや実行すべきことを学ぶことができ大変ためになった。話題が豊富で密度の高い時間となった。また、質疑応答でも活発な議論がなされていて、刺激になった。
- ・核家族の恵まれた家族のお話だと思った。子育ても介護ももっと社会が担うべきもの、家族には限界がある。家だけでなく、職場に育児室、介護室を作る方が先？

多くのご感想を頂きました中から、一部抜粋したものを掲載させていただきました。

〈4〉本日のセミナーをどこでお知りになりましたか？

1. 掲示ポスター 29 人
2. 医師・研究者キャリア支援センターホームページ 2 人
3. 学内メールでの案内 19 人
4. 知人からの案内 10 人
5. Facebook 0 人
6. その他 4 人



〈5〉次回の講演会開催のご要望をお聞かせください。(講演者、講演テーマ 他)

- ・子供の教育など。
- ・強い精神力を持つ方法。
- ・定時業務を進める。
- ・ライフワークバランスの調整に反対する上司の説得のしかたを知りたい。